

おれんじ新聞

14号（年2回発行）



桶川市高齢介護課（☎786-3211） 令和7年3月発行

〇おれんじ新聞とは・・・

桶川市の認知症に関する取組みを紹介する新聞です。

認知症という病気に、継続して関心を持っていただくために発行しています。

① 認知症（の疑い）の人や、その介護者家族が利用できるサービスや事業の紹介

サービス、事業名など	内容
認知症ケアパス	ご自分や大切な家族が「認知症かな？」と思ったときに手に取っていただく冊子です。相談先・利用できるサービス等を掲載しています。
おれんじカフェ(認知症カフェ) 	認知症の方やその家族・地域の人等誰もが、気軽に相談したり昔懐かしい歌を歌ったり回想法を実施したりして、交流する場所となっています。具体的な実施場所・日時については、毎月の広報でご案内しています。
認知症ケア相談室	在宅で認知症の人を介護する家族に対し、認知症ケアの具体的な方法についての相談を受ける場所です。看護師等の医療職と社会福祉士等の介護職が対応します。毎月の広報で、申込受付のご案内をしています。
認知症初期集中支援チーム	医療・介護の専門職が、家族等と協力して包括的・集中的に支援し、対象者を医療・介護サービス等に結びつける活動を行うチームです。高齢介護課や地域包括支援センターにご相談ください。
徘徊者見守りステッカー交付事業	徘徊のおそれのある人を対象に、靴や杖に貼るステッカーを配布します。警察や消防に情報を提供しておき、徘徊時の早期発見に役立てます。
徘徊高齢者等家族支援サービス事業★	徘徊のおそれのある人を対象に、GPS 機能付き端末を貸出し、徘徊時の早期発見に役立てます。利用に当たっては、地域包括支援センター職員が訪問調査に伺います。
認知症サポーター養成講座	90分の講座です。認知症の種類や症状の特徴、接し方の基本を学びます。受講修了後、認知症サポーター証をお渡しします。学びを深め、今後、地域で活動したい人は、ステップアップ講座（後述）に進みます。

いずれも利用・配布は無料（★は、費用が発生する場合があります）です。詳しくは、高齢介護課まで。

② 認知症サポーター養成講座の報告

認知症という病気について、その種類や症状・認知症の人への接し方の工夫・認知症予防と病気と共生することの大切さ等について学ぶ90分（小学生45分）の講座です。受講後、認知症サポーター証をお渡しします。**今年度は新たに783名のサポーターが誕生しました。**（R7.2月末現在）

対象者	人数
市役所新入職員	12
市民	49
小学4年生	590
福祉委員(小学5,6年生)	28
介護者家族	12
介護職員	26
郵便局職員	24
図書館職員	35
歯科医院職員	7

【小学生の感想文より】

・認知症の人は、自分のしたことや相手のことを忘れてしまう病気だと知りました。認知症のことが分かったので、これからは**自分ですることはやろう**と思いました。たとえば、**優しい言葉などを使って、相手を安心させる**などです。

・認知症の人は、**話した内容は忘れちゃうけど気持ちは残る**ことを初めて知りました。

・僕は認知症についてしっかり学びました。**ポケてしまうだけの病気なのかなとイメージしていましたが、全然違いました。**学んだことを家族に話そうと思います。



真剣にDVDをみる小学生



認知症の人の気持ちを考えよう



③ 認知症月間の取り組みについての報告

9月21日は「世界アルツハイマーデー」に制定されており、桶川市では9月を”認知症啓発月間”と定めて、様々な取り組みを行っております。

認知症に関する講座の開催、図書館に認知症に関する本の特集ブースを設置する等の他に、中央図書館で9月28日（土）に、すぺしゃるおはなし会として、「ものわすれの病気」を題材にした絵本の読み聞かせを行いました。その後、お話を聞いた子供たちと保護者に、「ものわすれの病気と老化によるものわすれとの違い」、「ものわすれの病気の人に、どのような接し方をしたらよいか」をクイズ形式でわかりやすくお伝えし、29名が参加しました。



困っているお年寄りはどちらだと思う？



正しい接し方はどちらかな？



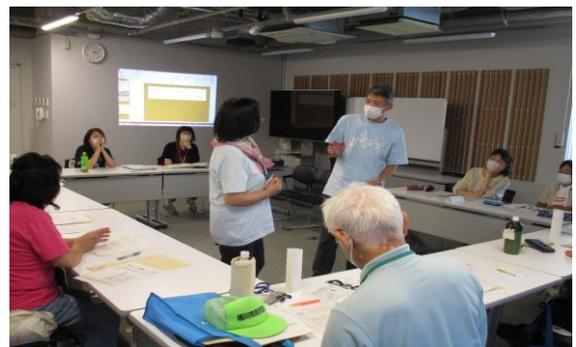
④ 認知症サポーターステップアップ講座の報告

桶川市では「認知症という病気や認知症の人に継続して関わっていきたい」と希望する人を対象に、令和3年度から「認知症サポーターステップアップ講座」を開催しています。講座は以下の3つの内容があります。

講座名	内容
1. 回想法を学ぼう	認知症の人に接する際に、会話を引き出す一助となる「回想法」を学びます。昔の写真や道具を使って行うこともあります。
2. 認知症ケアパスを読み解く	「認知症かな？」と気になった時に役立つ冊子「認知症ケアパス」の内容について、一つ一つわかりやすくお話しします。
3. 認知症の人と触れ合おう	認知症地域支援推進員と一緒に「おれんじカフェ」に参加し、認知症の人と触れ合いましょう。

市では3つの講座全てを修了した人を「**おれんじの木**のメンバー」と認定し、修了証と活動時に使用する名札を配布しています。[活動の様子は、本新聞でも !\[\]\(4729e517bc6a7cd81c8025b9646574fb_img.jpg\) マークで紹介しています。](#)

また、「季節の集い」を開催して、メンバー同士の交流を図ったり、認知症に関する情報をお伝えしております。



9月26日「講座2 認知症ケアパスを読み解く」を開催、8名が受講しました。

認知症の人が使える介護保険サービス、介護保険外のサービスの説明を聞き、参加者は熱心にメモを取っていました。その後、認知症の人への声掛けの仕方について、参加者の皆さんと知恵を出し合いながら、練習してみました。落ち着いて声を掛ける・・・実際に活かせるといいですね！



7月23日「夏の集い」を開催、10名が受講しました。埼玉県が作成した冊子を読み合わせ、「認知症の人の気持ち」について意見交換しました。



12月28日「冬の集い」を開催、10名が受講しました。認知症初期集中支援チームよりチームの活動内容の紹介があり、「認知症の介護者家族にどう寄り添うか」について意見交換しました。

⑥ 令和7年度の予定

～介護予防教室～

教室名	日にち	会場
転ばん！運動教室 週1回 10回コース 日常生活で簡単に行える運動の 実践や栄養の話など	5/13～7/15	坂田コミュニティセンター
	5/8～7/10	サン・アリーナ
	10/7～12/16	地域福祉活動センター
	10/9～12/11	川田谷公民館
楽しく♪脳活教室※ 週1回 6回コース 認知症予防体操、脳トレや音楽 リズム活動、口腔ケアの話など	5/27～7/1	川田谷公民館
	9/17～10/22	坂田コミュニティセンター
	11/5～12/10	桶川公民館
	11/18～12/23	東公民館
	R8.1/14～2/25	保健センター
歯ピネス体操教室 週1回 4回コース おくちの体操やブラッシング法、 肩腰膝の痛み予防体操など	6/5～6/26	桶川公民館
	11/5～11/26	地域福祉活動センター
	R8.1/26～2/16	保健センター

【注意事項】

- ・65歳以上の市民であれば、どなたでも参加できます。
- ・多くの方に参加していただくため、「各教室 同一年度1回までの参加」とさせていただきます。
- ・いずれの教室も、申し込みが必要です。詳細・申し込みについては、広報でご確認ください。



～認知症サポーターステップアップ講座～

講座名	日にち	内容
春の集い	5/13(火)	R6年度のおれんじの木のメンバーの活動報告、他
回想法を学ぶ	6/6(金)	認知症の人との会話の一助となる回想法の実践
夏の集い	8/1(金)	小学校向け認知症サポーター養成講座の紹介と協力依頼、他
夏の集いー2	8/26(火)	認知症啓発月間のイベント企画と協力依頼、他
認知症ケアパスを読み解く	9/26(金)	ケアパスを手に取り、ページに沿って内容を説明
冬の集い	1/20(火)	専門職を招いて、学びを深める、他

【注意事項】

- ・認知症サポーター養成講座を受講済みであり、今後、地域の認知症に関する事業に積極的に参加したいと希望する人が対象です。
- ・いずれの講座も、申し込みが必要です。詳細・申し込みについては、広報でご確認ください。

※ 認知症という病気は「支える人」「支えられる人」と、立場を区切って考えることはできません。桶川市は、認知症の人もそうでない人も、誰もが住みやすい街を目指しています。